

樹脂割れや欠けを補修する（造形補修材）

2019.06.28

トミー・マック

1. 要点

合成樹脂で成型されたおもちゃの部品は、落下・衝撃・経年劣化などにより割れや欠けなどが起きます。割れや欠けの程度、合成樹脂の種類、破損箇所により色々な補修方法があります。

2. 方法

プラリペア®または同等品（アクリルリキッド）と樹脂パウダーを使います。

詳しくは、「[造形補修材プラリペアのサイト](#)」を参照してください。



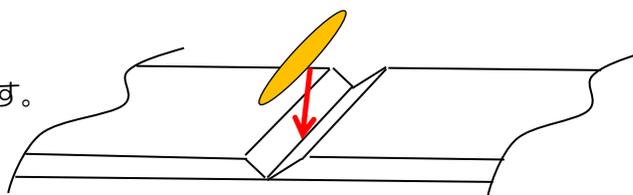
プラリペア®セット



同等品（アクリルリキッド）セット

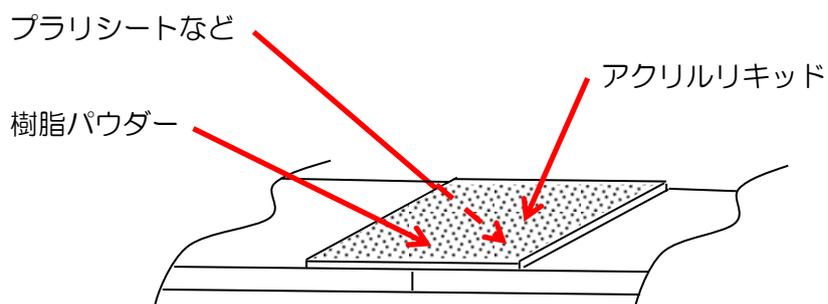
(1) 接合部に盛上げる

- 接着面の強度を上げる工夫として、合わせ面を削り、V字接触させる方法もあります。



(2) 接着面積を増やす

接着面積を増やすため、プラリシート（ガラス繊維クロス）や、強度は弱いですがクロス状になったペーパータオルに樹脂パウダーを振りかけ、アクリルリキッドで接着します。



プラリシート

樹脂割れや欠けを補修する（造形補修材）

- プラリシート（ガラス繊維クロス）を使用した実施例
接着面が曲面なので、ガラス繊維クロスを使った例。



修理前



修理後

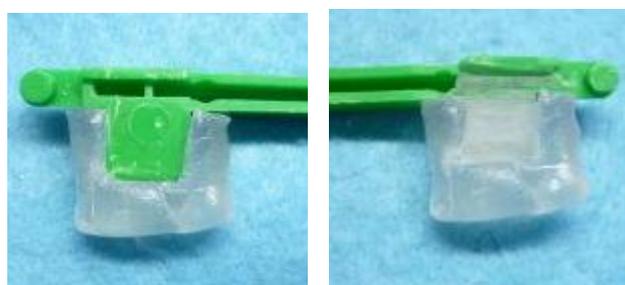
（3）欠け部を補修する

お湯に漬けることで形状を自由に変えられる樹脂の一つが「型取りくん」です。同等品に「おゆまる」があります。

- 同じ形状が2つあり1つが欠けてなくなった時、残った形状を「型取り君」で型取りし、造形補修材で補修した例。



修理前（右部欠落）



左部から型取りし、右部に型をはめ造形補修剤



補修後



「型取り君」



同等品「おゆまる」

樹脂割れや欠けを補修する（造形補修材）

- 左足の一部が欠けた時、右足に残った形状を「型取り君」で型取りし、造形補修材で補修した例。



修理前の右脚から型取りし、



左脚に型をはめて、造形補修材で補修

終わり